

可児市の多様な学びの場や支援する場

不登校の児童生徒のための相談や学習の場、保護者の方を支援する様々な制度やサービスがあります。まずは、ご相談ください。

教育研究所（教育相談担当）

児童生徒の登校渋りが続く場合・学習や生活に不安がある場合は、まずは、教育研究所の教育相談担当までご相談ください。学校生活の悩みの相談や、学校内外の学びの場や相談機関を紹介します。

【教育研究所 ☎ (0574) 63-4841】

可児市 教育支援センター ☎0574-42-6481

スマイリングルーム

〈教育支援〉

基本的な生活習慣を身に付けることで、心を整えながら、同じ空間内で学習支援、体験活動を行い、自分を見つめることができる教室です。

ニコニコルーム

〈自立支援〉

ゆったりとした空間で会話やゲーム等の活動を行いながら心と体を整え、活動のエネルギーをたくわえることができる教室です。

メタスマルーム

〈メタバース支援〉

「オンライン上の教育支援センター」に見立てて、子どもたちはそこにアクセスして、学習支援や相談支援を受けることができる教室です。

学 校

＜校内教育支援センター・相談室＞

学校に行けるけど自分の学級には入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に、利用できる学校内の居場所のことです。児童生徒のペースに合わせて相談に乗ったり、学習のサポートをしたりします。

子育て支援課

不登校支援室

保護者を対象に不登校の傾向の児童生徒について相談を受け付けます。児童生徒が利用できる居場所の情報、保護者の方が利用できる「保護者の会」の情報を提供します。

可児市国際交流協会（フレビア）

外国にルーツを持つ児童生徒対象の不登校等の悩みを受け付けています。

市民支援室（子育て健康プラザ マーノ）

子育ての悩みを聞いたり、関係機関につないだりします。

可児市社会福祉協議会

暮らしの悩みを聞いたり、関係機関につないだりします。

中部中学校3つの校内教育支援センター

たんぽぽ（北舎3階）

家からなかなか出ることができない生徒や、スマイリングルームに登校できたので、学校にも登校してみようという生徒の支援を行います。登校できそうな時間帯を予約することで、支援員がじっくりと話を聞き、今後の方向を一緒に見つけていきます。

＜開室日時＞

月曜日～金曜日

午前8時45分～午後3時45分

予約制となります。自分が登校できる日、時間に来てください。



担当 善本 安子 校内教育支援センター支援員

ひまわり（中舎2階）

学校に登校はできるけど、教室には入りづらい生徒、少し気持ちを落ち着かせたい生徒の居場所です。個別学習の部屋とパーティションで仕切られた部屋があります。教室復帰に向けて一緒に考えます。



担当 土井内 理恵 教育相談コーディネーター

わかば（南舎2階）

臨時的に利用できる個室です。心を落ち着かせたい時、先生と話したい時、カウンセリング、保護者面談を行う時に活用しています。



中部中教育相談スタッフ

スクールカウンセラー（SC）
担当 杉本 朋恵（水曜日勤務）



公認心理師が専門的な知識や技能を生かしてカウンセリングを行います。生徒はもちろん、保護者の方のカウンセリングも受け付けています。

スクール相談員

担当 小崎 康史（水曜日勤務）



小中学校での豊富な勤務経験を生かし、生徒と保護者の支援を行います。保護者の方からの相談も受け付けています。

スクールソーシャルワーカー（SSW）
担当 石原 雅子（水曜日勤務）



社会福祉士が専門的な知識や技能を生かして、不登校・虐待・いじめ・貧困などの問題を、保健・福祉・医療の関係機関と連携しながら環境改善に取り組みます。保護者の方からの相談も受け付けています。

担当までお気軽にお電話ください
中部中学校 0574-62-1161

【不登校の未然防止】

◆生徒理解

- ・年に6回の心のアンケート実施⇒内容に応じて懇談を行い一緒に対応を考えます。
- ・年に2回の教育相談実施⇒担任と1対1で懇談を行い直接悩みを相談することができます。
- ・WEB-QUの実施⇒生徒の状態を多角的に把握します。不登校になる可能性の高い生徒や学校生活の意欲の低い生徒などを発見します。

◆可見市「笑顔の“もと”プログラム」の実施

生徒が対人スキルを身に付け、良好な人間関係をつくりあげることが目的としてトレーニングします。

◆SOS の出し方教育の実施

困ったときに一人で悩まず相談することを SC から全校に伝えます。

◆居心地のよい学校、集団づくり

生徒会活動を基盤として、生徒一人ひとりのよさを認めながらあたたかいかわりを生み出しています。

【不登校の初期対応】

◆不登校や登校渋りの予兆を見逃さない「学校」と「家庭」との連携

<欠席が増えてきたら>

- ・学校と家庭が連絡をとり、本人の状況を把握します。
- ・家庭訪問や懇談を行い、本人や保護者の意向を聞き、今後の動きを確認します。
- ・学年会や校内のケース会議を行い情報共有します。

◆スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、スクール相談員の専門的知見から助言

中部中学校で大切にしていること



考え【自ら考え抜く】

生徒の学習意欲を引き出し、自ら課題や問題に向かっていく授業を目指しています。その中で、最終的に「自分で考えて行動する」姿を生み出します。

力を合わせて【協働する】

よさや課題を自覚し、粘り強く、なりたい自分や目標に向き合うことを大切にしています。「できた」「わかった」を実感できる授業を教師と生徒で創り上げています。

やり抜く【努力を続ける】

仲間の刺激を受けながら、なりたい自分に向かってひたむきな努力を続ける姿を生み出します。キャリアパスポートを用いたり、学活を行ったりして、定期的に現在の自分の姿を振り返っています。

あなたが大事



中部中学校校内教育支援センター

中部中学校には 「ほっ」とできる
居場所があります

〒509-0214
可見市広見1086番地
Tel 0574-62-1161
Fax 0574-60-0393



中部中学校ホームページ